



# 監査報告書

令和2年5月27日

社会福祉法人 和寿園  
理事長 薦野 信 殿

監事 長澤 洋一郎 

監事 植野 桂子 

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。
- (2) さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当会計年度に係る計算書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

決算の概要については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

### (3) 監事意見

新型コロナウイルス感染症拡大の危機的状況の中、利用者及び職員の安全を確保しつつ施設運営に努力されていることに敬意を表します。

① 中間監査において指摘した預り金会計については帳簿書類の作成及び預り金管理に関する事務処理ともに適正に改善されていると認められます。

今後も預り金の縮小廃止に向けての取り組みをお願いします。

② 各拠点の小口現金出納帳の一部に管理者の残高確認の漏れが認められます。各月末の現金有り高の確認を確実にお願いします。

③ 事業継続のためには人材の確保と後継者の育成が強く求められます。限られた人員の中で良質なケアを確保するためには職員個々のスキルアップと意欲の向上が不可欠と思います。しかしながら、職員によっては研修受講時間数の差が見受けられるようです。

外部研修を受講した職員を講師とするなど事業所内研修を充実し、全員が最低限の受講時間を確保できるよう配慮願います。

④ 利用者の安全確保には非常に努力されており事故や苦情の発生は減少しているように思います。しかしながら、その中で転倒関係事故は事故件数の60%以上を占め、かつ特定の利用者に集中しているようです。

介助中の転倒事故は利用者と介助者双方に危険が伴います。発生の時期、場所、状況を個別に分析し、共有して下さい。

さらに誤薬や与薬漏れの防止には細心の注意をはらい、利用者と職員の健康と安全の確保に努められるようお願いします。

#### (4) 総合評価

社会福祉法人和寿園は、厳しい環境の中に安定した運営を続けておられるように思います。

世情は困難な状況が続きますが的確なリスクマネジメントの下、利用者と職員にとって快適な環境の維持に努められ、さらに利用者の意思に即した安全で快適な介護サービスの提供により地域の高齢者福祉の充実に大きく貢献されるよう望みます。